

- 問1 明治初期、学制に基づいて設置された小学校において、女子の就学率が男子に比べて著しく低かった背景や、その後の変化に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 女子には学校に通う義務が法的に課されていないため、教育普及の対象から外されていたが、大正デモクラシーの時期により就学が進んだ。

2. 家事や育児の担い手として女子の労働力が期待されていたため就学が遅れたが、産業の発達や義務教育の徹底により明治末期には格差が解消された。

3. 当時の小学校は男子のみを対象とした軍事教育が中心であったため、女子の入学が厳しく制限されていたが、日露戦争を機に女子教育が奨励された。

4. 授業料が高額であったため、農村部では男子のみを優先して通わせる傾向があったが、明治中期に授業料が完全に無料化されたことで男女同時に100%に達した。
- 問2 1871年に欧米へと派遣された岩倉使節団には、日本で初めての女子留学生たちが同行していました。その一人であり、アメリカでの長期にわたる留学生生活を終えて帰国した後、女子の自立と地位向上を目指して現在の津田塾大学の前身である「女子英学塾」を創設した人物を次の中から選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 津田梅子

2. 市川房枝

3. 平塚らいてう

4. 樋口一葉
- 問3 1872年に明治政府が、輸出の主力製品であった生糸の品質向上と増産を図るために群馬県に設立した、フランスの技術と機械を導入した日本初の本格的な機械製糸工場の名称を選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 八幡製鉄所

2. 富岡製糸場

3. 足尾銅山

4. 長崎造船所
- 問4 1895年に結ばれた下関条約によって、日本が清から一度は譲渡を受けたものの、ロシア・ドイツ・フランスの3か国による強い要求（三国干渉）を受け、清に返還することとなった半島を何といいますか。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 遼東半島

2. 山東半島

3. 能登半島

4. 朝鮮半島
- 問5 1894年、日清戦争が始まる直前に外務大臣の陸奥宗光がイギリスと調印し、幕末以来の不平等条約の一部を解消した歴史的な出来事として、適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
1. 領事裁判権の撤廃

2. 関税自主権の完全な回復

3. 日露戦争の講和による利権の割譲

4. 下関条約の締結による賠償金の獲得
- 問6 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約では、日本とロシアの国境が新たに定められました。この条約の結果、日本がロシアから譲り受け、新たに日本の領土となった範囲を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
1. 樺太の北緯五十度以南の地域

2. 樺太の全域および千島列島の全域

3. 宗谷海峡から北側の樺太全域

4. 千島列島の北端にある占守島から南側の全島
- 問7 三国干渉によって遼東半島を清に返還せざるを得なくなった日本国内では、ロシアに対する反発が急速に強まりました。このとき、将来の報復のために耐え忍ぶという意味で、国民の間に広く合言葉として使われた四字熟語を選びなさい。 (2024年 鳥根県公立入試 類似)
1. 四民平等

2. 臥薪嘗胆

3. 弱肉強食

4. 富国強兵
- 問8 幕末に結ばれた不平等条約には、日本国内で罪を犯した外国人を、日本側ではなくその国の領事が裁く「治外法権（領事裁判権）」が認められていました。この権利の撤廃を目指し、1894年にイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、交渉を成功させた人物は誰ですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 岩倉具視

2. 小村寿太郎

3. 井上馨

4. 陸奥宗光
- 問9 明治時代初期の日本において、武力で朝鮮に開国を迫るべきだとする主張に対し、岩倉具視らが反対し、最終的にその主張が退けられた理由として最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2021年 北海道公立入試 類似)
1. 富国強兵を進めるために、朝鮮を武力で屈服させるのではなく、対等な立場で経済協力を行うことが不可欠だと判断したため。

2. 欧米諸国の視察から帰国した直後であり、外征よりもまずは国内の政治体制を整える「内治」を優先すべきだと考えたため。

3. 西洋の文化や制度を積極的に取り入れる文明開化の時期において、鎖国を続けるべきだとする尊王攘夷の考えが強まったため。

4. 明治政府がすでに朝鮮との間に正式な開国条約を締結しており、あえて武力を用いる必要性がなくなっていたため。
- 問10 大日本帝国憲法の条文において、日本国民（臣民）には言論、著作、印行、集会および結社の自由が認められていました。しかし、これらの自由を享受するためにはある特定の条件がついていました。その条件として憲法第29条に明記されていた文言を選びなさい。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 公共の福祉に反しない限り

2. 憲法の範囲内

3. 勅令の範囲内

4. 法律の範囲内
- 問11 19世紀末、フランス人のビゴーが描いた風刺画には、日本を象徴する人物と清（中国）を象徴する人物が、池の中で「朝鮮」という文字が書かれた魚を釣り上げようと競い合っている様子が描かれています。この風刺画が象徴している、1894年に日本と清の間で始まった戦争はどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 第一次世界大戦

2. 日清戦争

3. アヘン戦争

4. 日露戦争
- 問12 日清戦争を終結させた下関条約の内容と、その後の国際情勢について述べた文として、正しい背景や因果関係を示しているものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 条約によって賠償金を得る代わりに領土の割譲は行わないこととし、東アジアの平和を維持する体制を整えた。

2. 清が朝鮮の独立を認めたことで、朝鮮に対する清の支配権が否定され、日本は遼東半島や台湾などを獲得した。

3. 日本がロシアから樺太の南半分を譲り受けることが決まり、これに反発した清が遼東半島の返還を求めた。

4. 日本が獲得した遼東半島に対し、イギリス・アメリカ・フランスが東洋の平和を乱すとして返還を要求した。
- 問13 明治時代初期、政府が北海道の開拓と統治を推し進めるために設置した、地方行政機関の名称として正しいものを選択してください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 開拓使

2. 北海道庁

3. 鎮台

4. 屯田兵局

答え合わせ・解説

問1	答え 2 家事や育児の担い手として女子の労働力が期待されていたため就学が遅れたが、産業の発達や義務教育の徹底により明治末期には格差が解消された。	明治初期には、女子は家庭内での労働力として期待される傾向が強く、学校教育の必要性が十分に認識されていませんでした。しかし、国の近代化が進むにつれて女子教育の重要性が高まり、1900年の小学校令改正による授業料の原則無償化や、日露戦争前後の国家意識の高まりなどを背景に、1900年代初頭には男女間の就学率の差はほとんど見られなくなりました。
問2	答え 1 津田梅子	岩倉使節団にわずか6歳で同行した津田梅子は、約11年間のアメリカ留学を経て帰国しました。当時の日本では女性が専門的な知識を学ぶ場が限られていたため、英語教育を通じて女性の個性を尊重し、自立した女性を育成することを目指して1900年に女子英学塾を設立しました。他の選択肢のうち、樋口一葉は明治時代の小説家、平塚らいてうは『青鞥』を創刊した女性解放運動家、市川房枝は大正から昭和にかけて女性参政権運動を指導した人物です。
問3	答え 2 富岡製糸場	明治政府は殖産興業政策の一環として、外貨を獲得するために生糸の生産に力を入れました。群馬県に設立された富岡製糸場は、最新のフランス式技術を導入した官営模範工場であり、ここで技術を学んだ工女たちが全国にその技術を広める役割を担いました。2014年には世界文化遺産にも登録されています。
問4	答え 1 遼東半島	日清戦争に勝利した日本は、下関条約で賠償金の支払いのほか、台湾や澎湖諸島、そしてこの半島を譲り受けました。しかし、ロシアは自国の東アジア進出を妨げると考え、ドイツ・フランスを誘って日本に圧力をかけ、返還を迫りました。日本はこの要求を受け入れざるを得ず、返還した後はロシアへの対抗意識を強めることとなりました。
問5	答え 1 領事裁判権の撤廃	陸奥宗光はイギリスとの間に日英通商航海条約を調印し、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁けないという不平等な項目である領事裁判権（法権）の撤廃に成功しました。これは日本の近代化が欧米諸国に認められ始めた成果であり、1911年の関税自主権の回復と並んで条約改正の重要な柱となります。
問6	答え 1 樺太の北緯五十度以南の地域	1905年に調印されたポーツマス条約により、日本は樺太（サハリン）の北緯50度以南の地域を領有することになりました。これにより、日本の北方領土は、すでに1875年の条約で日本領となっていた千島列島全域に加え、樺太の南半分まで拡大しました。選択肢にある「樺太・千島交換条約」当時の国境線や、現在の北方領土の状況と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 2 臥薪嘗胆	強力な軍勢力を背景にしたロシアなどの要求に屈した日本国民は、この屈辱を忘れないために「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」をスローガンとして掲げ、ロシアとの戦いに備えた軍備拡張を支持するようになりました。この対立感情が、後の日露戦争の一因となります。
問8	答え 4 陸奥宗光	1894年、日清戦争の開戦直前に外務大臣の陸奥宗光がイギリスとの間で日英通商航海条約を締結し、領事裁判権（治外法権）の撤廃に成功しました。これにより、幕末以来の課題であった不平等条約の改正が大きく前進しました。1911年に関税自主権の回復を成し遂げた小村寿太郎との混同に注意が必要です。
問9	答え 2 欧米諸国の視察から帰国した直後であり、外征よりもまずは国内の政治体制を整える「内治」を優先すべきだと考えたため。	岩倉使節団として欧米を視察した岩倉具視や大久保利通らは、西洋諸国との国力の差を痛感していました。そのため、海外への遠征（征韓論）を行うよりも、国内の近代化や法整備を優先すべきであると主張し、政府内の対立へと発展しました。この結果、征韓論を主張した西郷隆盛らは政府を去ることになりました。
問10	答え 4 法律の範囲内	大日本帝国憲法における国民（臣民）の権利は、天皇から与えられたもの（恩恵的権利）という性格が強く、日本国憲法が定める「侵すことのできない永久の権利」とは性質が異なります。第29条では言論や集会の自由が掲げられていましたが、「法律の範囲内」という留保がついていたため、議会が制定する法律によってそれらの自由を制限することが可能となっていました。
問11	答え 2 日清戦争	この風刺画は、朝鮮半島への影響力をめぐって対立を深めていた日本と清の緊張関係を描いたものです。明治維新後の日本は大陸進出や自国の安全保障のために朝鮮への影響力を強めようとし、古くから朝鮮を属国としていた清と衝突しました。この対立が決定的となり、1894年に日清戦争が勃発しました。
問12	答え 2 清が朝鮮の独立を認めたことで、朝鮮に対する清の支配権が否定され、日本は遼東半島や台湾などを獲得した。	下関条約の第1条では、清が「朝鮮の完全無欠なる独立」を認めることが明記されました。これにより清の宗主権が否定され、日本の朝鮮への影響力が強まりました。また、日本は賠償金のほか、遼東半島、台湾、澎湖諸島を獲得しましたが、遼東半島についてはロシア・ドイツ・フランスの「三国干渉」によって、条約直後に清へ返還することとなりました。
問13	答え 1 開拓使	明治政府は1869年、北方からのロシアの進出を警戒した防衛の強化と、農業・資源開発を進める目的でこの機関を設置しました。これにより、それまでの「蝦夷地」という呼称が「北海道」へと改められ、近代的な開発が本格化しました。1886年に設置された北海道庁とは時期が異なる点に注意が必要です。